

南あわじ市 平成 22 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(団体用)

I 基本事項

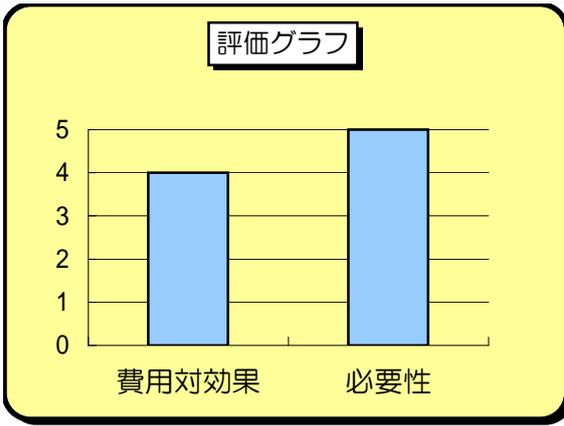
		整理番号	849
事業名	淡路島観光協会補助金	予算科目	会計 一般会計・1 款 商工費・7款 項 商工費・1項 目 観光振興費・3目
担当部課名	産業振興部 商工観光課		
電話	0799 - 37 - 3012		
事業分類	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)	南あわじ市補助金等交付規則
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職 食 づくり 夢あふれ 働く場を生み出すまちづくり	
	まちづくりの目標	行って楽しい交流・感動の舞台【観光・交流】	
	施策目標	市民自ら地域の魅力を知り、あらゆる方面からみんなで発信し、南あわじファンを増やす	

II Plan&Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

団体の概要	団体の活動目的	(対象者をどのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 多彩で豊富な観光・交流資源の活用と連携による観光ネットワークの構築、淡路島の魅力の発信、一体的・総合的な推進により、淡路島を一つとして全国ブランドで売り出し、広域観光の振興、観光客の誘致拡大、観光産業及び観光文化の振興を図り、もって淡路島全体の活性化に寄与する。		
	団体の活動内容	(主な事業、具体的な活動内容等) 1. 観光客誘客事業(「旅チャリ」「スタッフリ-」運営、観光ボランティア運営、クィーン淡路運営、観光キャラバン) 2. 情報発信事業(観光情報の収集・整理、ホームページの開設・運営、おもしろマップ作成等) 3. 観光商品開発運営事業(牛井プロジェクト、スパアスロン等) 4. 観光基盤整備事業(教育旅行誘致、接客コンテスト、地域イベント等) 5. その他観光振興事業 【H21年度南あわじ市観光協会活動内容】 観光案内(なないろ館観光案内所運営、電話案内、HP制作等) 広報宣伝(ハモキャンペーン、水仙キャンペーン、チラシ作成、兵庫県ディスプレイキャンペーン等) 企画事業推進(うずしおまつり、ハモ・鯛・ふぐ・水仙イベントの開催、元気回復支援事業等)		
	団体の概要	(どのような人が団体の構成員となっているか、構成員の内訳等) 会員資格：淡路島における観光産業に関係ある団体及び個人。 組織形態：淡路島観光連盟、洲本市観光協会、五色町観光協会、南あわじ市観光協会、淡路市観光協会が平成22年4月1日に統合され、新たに「淡路島観光協会」として(財)淡路島くにうみ協会に組み込まれた。		構成員人数(人)
	事務局の所在 (直接事務執行部署)	<input checked="" type="checkbox"/> 補助団体 <input type="checkbox"/> 市役所	<input type="checkbox"/> 市単位 () <input type="checkbox"/> 旧町単位 () <input type="checkbox"/> 旧村単位 ()	
	補助金算出根拠	(補助対象事業費) (自主財源) (特定財源) (その他) (3市負担金) 89,815千円 - 20,940千円 - 24,670千円 - 6,700千円 = 37,505千円 37,505千円 × 1/3 12,500千円		
補助交付期間	<input type="checkbox"/> 平成 22 年度 ~ 平成 22 年度 <input type="checkbox"/> 設定なし			
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯) <input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から			

		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度											
資源配分 (インプット)	直接事業費 (千円)	11,050	10,190	10,190	12,500	12,500											
	淡路島観光協会補助金	11,050	10,190	10,190	12,500	12,500											
	事務局事務費(市が事務局の場合)																
	財 源 (千円)																
	国																
	県																
	起債																
	その他																
	一般財源[A]	11,050	10,190	10,190	12,500	12,500											
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0											
	平均人件費(1日当り)	30.1	27.9	28.2	27.4	27.4											
	事業量1(事業に要した日数)																
	事業量2(事業に要した人数)																
	年間経費([A]+[B])	11,050	10,190	10,190	12,500	12,500											
	「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-											
経費に関する 補足説明	(事業費内訳) H19~21年度は、南あわじ市観光協会補助金と淡路島観光連盟負担金の合計。 <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>南あ観光協会</td> <td>淡路島観光連盟</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>平成19年度</td> <td>9,000千円</td> <td>+ 2,050千円</td> <td>= 11,050千円</td> </tr> <tr> <td>平成20・21年度</td> <td>8,550千円</td> <td>+ 1,640千円</td> <td>= 10,190千円</td> </tr> </table> 平成21年度まで決算額。平成22年度以降当初予算額。						南あ観光協会	淡路島観光連盟	計	平成19年度	9,000千円	+ 2,050千円	= 11,050千円	平成20・21年度	8,550千円	+ 1,640千円	= 10,190千円
	南あ観光協会	淡路島観光連盟	計														
平成19年度	9,000千円	+ 2,050千円	= 11,050千円														
平成20・21年度	8,550千円	+ 1,640千円	= 10,190千円														

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

費用対効果	(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。) 南あわじ市観光協会は、なないろ館観光案内所管理運営を職員1名・パート3名を雇用した窓口対応及び電話対応、ホームページによる啓発等案内業務、シーズン毎のイベント開催やキャンペーンを実施している。会員数は観光関係者で約350名を抱えており、会費による独自事業の展開や、昨年度は兵庫県ディスティネーションキャンペーンを積極的に実施した。また、新型インフルエンザ被害への対応も早く、元気回復事業として緊急経済対策も行っている。観光協会の存在は観光案内だけをとっても市の業務の軽減につながり、会員の連携によるイベントの開催は、地域の活性化に大きく寄与していることから、費用対効果はかなり大きいものであると考え。平成22年度より、島内観光団体が統合し、(財)淡路島くにうみ協会の組織の中に淡路島観光協会として新たな活動を行う。	自己評価 (5点評価) 4
	公共性の高低 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 島外の観光客からは「淡路島は一つ」と見られている。国からも淡路島観光圏として国の認定を受け、観光においての島内一本化した活動は、効率的であり、大きなメリットを生むと期待される。淡路島を全国ブランドとして売り出し、広域連携による観光の振興、観光客の誘致拡大、観光産業及び観光文化の振興を図り、淡路島全体の活性化に寄与することを設立の趣旨として掲げ、公共性、必要性は非常に高いと考える。
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 これまで市と観光協会が連携を密にし観光行政を推進してきた。特に合併後に4つの観光協会が一体となって取組んだ水仙PR、ハモキャンペーン・イベント等により、ブランド化ができ、マスコミへの取上げられ方や集客は、旧4町で行っていたときをはるかに上回る成果をあげてきた。 平成22年度より淡路島観光協会として組織が大きくなるスケールメリットを活用し、更なる観光振興と地域活性化が期待できる。	評価グラフ 

IV Action&Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

	平成23年度にできる改善・改革	平成24年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事務局変更 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減
	<p>南あわじ市観光協会が淡路島観光協会に統合し、淡路島が一つとなった観光振興を展開する。島内3市で歩調を合わせた助成が必要である。</p> <p>今後は、収益事業等の展開により自主財源による活動を進めることを期待する。</p>	<p>同左。</p>
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果		
(現状維持の場合も記入)	<p>仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面)</p> <p>島外の観光客等からは、「淡路島は一つ」という認識が高い。これに応えるために誕生した淡路島観光協会により、淡路島が一体となったスケールメリットは計り知れず、公共性も高い。やがては法人化し自立した活動を展開できるようになれば、負担金の削減が可能である。これからも県や市がバックアップを行う必要がある。</p> <p>廃止した場合は、観光案内や問合せが各市に殺到するほか、淡路島の観光振興は後退すると考える。</p>	